

## 開発品（2021年11月1日現在）

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266 (セフィデロコルトシル酸 塩硫酸塩水和物) [米国: Fetroja <sup>®</sup> ] [欧州: Fetcroja <sup>®</sup> ]	細胞壁合成阻害 (注射)	他の治療がないまたは 限定される腎盂腎炎を 含む複雑性尿路感染 症、院内肺炎(米国) 治療が限定される好気 性グラム陰性菌による 感染症(欧州)	グローバル: フェーズⅢ (小児) 米国: 承認(複雑性尿路 感染症)(2019年11月) 米国: 承認(院内肺炎) (2020年9月) 欧州: 承認(2020年4月)	自社	自社
	S-033188 (パロキサビル マルボ キシル) [日本:ゾフルーザ <sup>®</sup> ]	キャップエンドヌクレア ーゼ阻害 (経口・顆粒)	インフルエンザウイルス 感染症	日本: 承認(体重20kg以 上)(2018年9月) 日本: 申請(体重20kg未 満)(2018年8月)	自社	自社/Roche (スイス)
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感 染症の予防	日本: フェーズⅡ/Ⅲ	自社	自社
	S-217622	3CLプロテアーゼ阻害 剤(経口)	新型コロナウイルス感 染症の治療	日本: フェーズⅡ/Ⅲ	自社	自社
疼痛・神経	S-297995 (ナルデメジントシル酸 塩) [日本: スインプロイク <sup>®</sup> ] [米国: Symproic <sup>®</sup> ] [欧州: Rizmoic <sup>®</sup> ]	末梢性オピオイド受容 体アンタゴニスト (経口・散剤)	オピオイド誘発性便秘 症(小児)	欧州: フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-120083	未公表 (経口)	炎症性疼痛	日本: フェーズⅠ 米国: フェーズⅡ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-010887	未公表 (経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-117957	未公表 (経口)	不眠症	米国: フェーズⅠ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-600918 (sivopixant)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	難治性・原因不明慢性 咳嗽	グローバル: フェーズⅡ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	睡眠時無呼吸症候群	日本: フェーズⅡ	自社	自社
	S-637880	未公表 (経口)	神経症状を伴う慢性腰 痛	日本: フェーズⅡ	自社	自社
	S-812217 (zuranolone)	GABA <sub>A</sub> 受容体ポジティ ブアロステリックモジュ レーター(経口)	うつ病・うつ状態	日本: フェーズⅡ	Sage(米国)	自社/Sage
	SDT-001	中枢作用に基づく、治 療用デジタルアプリ	ADHD患者の不注意症 状(小児)	日本: フェーズⅡ	Akili(米国)	自社/Akili
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	脆弱X症候群	米国: フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	アルツハイマー型認知 症	米国: フェーズⅡ 日本: フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	代謝疾患	S-237648	ニューロペプチドY Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本: フェーズⅡ	自社
ADR-001		ヒト他家脂肪組織由来 の間葉系幹細胞(注 射)	非代償性肝硬変	日本: フェーズⅠ/Ⅱ	ロート	自社/ロート
S-723595		アセチルCoAカルボキシ ラーゼ2阻害(経口)	非アルコール性脂肪肝 炎	日本: フェーズⅠ	自社	自社
S-309309		モノアシルグリセロール アシルトランスフェラー ゼ2阻害剤(経口)	肥満症	米国: フェーズⅠ	自社	自社

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
フロンティア	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	食道がん	日本:フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧:フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン (注射)	固形がん	英国:フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-222611 (epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻 害薬(経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-770108	抗線維化作用 (吸入)	特発性肺線維症	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用 (外用)	皮膚潰瘍(褥瘡, 糖尿 病性潰瘍)	日本:フェーズⅢ	ファンペップ(日本)	自社/ファンペップ
	S-005151 (レダセムチドリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	脳梗塞	日本:フェーズⅡ	ステムリム(日本)	自社
	S-005151 (レダセムチドリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	表皮水疱症	日本:フェーズⅡ(追加臨 床試験準備中)	ステムリム(日本)	自社
	S-531011	CCR8特異的モノクロー ナル抗体(注射)	固形がん	日本・米国:フェーズⅠ b/Ⅱ	自社	自社

<導出品>

開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1265744 LAP*1 (cabotegravir)	インテグラーゼ阻害 (注射)	HIV感染症(治療 及び予防)	(CAB*2 LAP+RPV*3 LAP 2剤療法) カナダ:承認(2020年3月) 米国:承認(2021年1月) 欧州:承認(2020年12月) (CAB LAP、予防適応) グローバル:フェーズⅢ	Shionogi-ViiV Healthcare	治療:ViiV Healthcare(英国) 予防:ViiV、HPTN、 NIAID、Gilead(米 国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメ ティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズⅢ(申請準備中)	自社	キッセイ薬品(日 本)
S-033188 (パロキサビルマル ボキシル) [米国:Xofluzo™]	キャップエンドヌクレ アーゼ阻害 (経口)	インフルエンザウ イルス感染症	米国:承認(2018年10月) 米国:承認(ハイリスク患者)(2019年10月) 米国:申請(小児、1歳以上)(2020年3月) 米国:承認(顆粒、12歳以上)(2020年11月) 米国:承認(予防投与、12歳以上)(2020年11月) 欧州:承認(治療、12歳以上)(予防投与、12歳以 上)(2021年1月) グローバル:フェーズⅢ(小児、1歳未満) グローバル:フェーズⅢ(伝播抑制)	自社	自社/Roche(スイ ス)
S-555739 (asapirant)	プロスタグランジンD2 DP1受容体拮抗 (経口)	COVID-19の重症 化抑制	米国:フェーズⅡ	自社	BioAge(米国)

\*1 Long acting parenteral formulation, \*2 Cabotegravir, \*3 Rilpivirine

2021年8月2日からの変更点

ステージの変更	S-268019: 日本:フェーズⅠ/Ⅱ⇒フェーズⅡ/Ⅲ
	S-217622: 日本:フェーズⅠ⇒フェーズⅡ/Ⅲ
	S-005151(表皮水疱症): 日本:フェーズⅡ(申請準備中)⇒フェーズⅡ(追加臨床試験準備中)
開発品の追加	S-309309: 米国:フェーズⅠ
	S-531011: 日本・米国:フェーズⅠb/Ⅱ
開発品の削除	S-648414: 開発中止のため(2021年9月)